



◇指導のねらい

- ・目と手の協応の力をつけたい児童を対象として作成した。
- ・手指の巧緻性を高めたい児童を対象として作成した。
- ・自習に取り組ませたい児童を対象として作成した。
- ・立体的な物を操作することが好きな児童を対象として作成した。

◇基本の使い方

- ①ろうそくをケーキに立てる。
- ②いちごがついたペグをケーキの穴に挿す。

◇指導の評価

主に自習課題として使用している。ケーキという身近な物を教具にしたためか、積極的に学習に取り組めるようになった。自分でこの教具を出してくることもある。学習の終わるも分かりやすいようで、ろうそくやいちごを全部立て終わると自分で拍手をして喜ぶ姿も見られる。